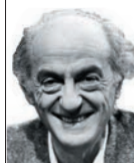


日本語版 「こぶた」 vs. 「コブタ」

ランドルフさんの最高傑作「すすめコブタくん」が登場したのは2001年。それから20年余、ずっとお薦めゲームの主役であり続けましたが、残念ながら廃番になってしまいました。

代わって登場したのが日本語版「こぶたのおんぶレース」。今回は両者を徹底比較します。こだわりのオリジナル版か？それともコスバ抜群の日本語版か？あなたはどっちにする？

100 years of Alex Randolph 1922-2004

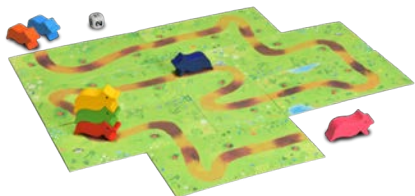


2001年子どもゲーム大賞ノミネート

在庫なくなり次第終了



新発売



日本語版  
**こぶたのおんぶレース**  
2,530 円

製作：ジーピー社（日本）、2022年



オリジナル版  
**すすめコブタくん**  
5,280 円

製作：ドライ・マガア社（ドイツ）、2001年

コマ



日本語版（左）の方がほんのわず  
か小さいがほとんど同じ。

木製ディスク



日本語版（左）の方がほんのわず  
か大きく厚い。鼻シールを貼った  
面が表になり「使ったら裏返す」  
ルールはわかりやすい。

サイコロ



日本語版（左）は数字表記なので、幼児には難しい。

ボード

日本語版（左）のマスは、曖昧でややわかりにくい。  
道端の「どんぐり」も生かし切れてません…。



これも細かい話ですが、日本語  
版（左）には、道端の草が描か  
れていません。オリジナル版の  
ルールには、「道がとても狭い  
ので、追い越す時は、お互いに  
飛び越えなければなりません」  
とあり、「おんぶ」の必然性を  
感じさせているのはさすが。

細かい話ですが、ボード上の花  
と同じ花がパッケージ（下参照）  
にちゃんと描かれています。よ  
い絵本の表紙と同様、パッケー  
ジから、物語の世界が始まって  
いるんですね。



ルール

オリジナル版のルールには、作者  
に加え、絵、デザイン、編集がク  
レジットされ、「作品」として扱  
われているのを感じます。コブタ  
を積んだパターンも付いています。

作者・コブタのデザイン	Autor und Ferkeldesign:	Alex Randolph
イラスト	Illustrationen:	Rolf Vogt
デザイン	Gestaltung:	Johann Rüttinger
編集	Redaktion:	Kathi Kappler

佐々木 隆行（ささき たかゆき）

百町森スタッフ。自称アレックス・ランドルフ研究者。2008年以降、ランドルフさんの功績を忘れないようにと、誕生日と命日にあたるGW期間中に「ランドルフ展」や「ガイスター大会」を開催している。



ランドルフ News

アレックス・ランドルフさんが作った  
ボードゲームで遊んで

生誕100年を  
お祝いしよう!

ハッシュタグ「#alex100」  
をつけてTwitterやInstagramに投稿しよう!



ランドルフさんのゲームで遊ぼう！  
お誕生日の5月4日、命日の4月27日の頃に合わせて、ラ  
ンドルフさんのゲームで遊んだ写真をSNSに投稿しません  
か？ハッシュタグは「#alex100」、主催は先々月ご紹介した  
「ALEX RANDOLPH 100TH BIRTHDAY 実行委員会」さんです。

●ランドルフ展は5月4日から●ランドルフさんについてのライブ配信を4月17日午後5時からやります！ここで書き切れなかった話も出るかも？